

# 世田谷区



## 公共施設 屋根貸し事業

区公共施設の未利用スペースのある屋根を、事業者へ貸し出し、太陽光発電設備を設置します。自然エネルギーの活用による二酸化炭素の削減、公共財産の有効活用による税外収入確保、独立電源としての地域防災力の向上につながります。

## 公共施設の 低炭素化の取り組み

平成25年度は3施設に合計77kWの太陽光発電設備を導入し、31施設をLED照明に改修しました。世田谷中学校では屋上に30kWの太陽光パネル、昇降口に発電状況を表示するモニターを設置し、環境学習に役立てています。



区営住宅の屋上



世田谷中学校

自然の恵みを活かして  
小さなエネルギーで  
豊かに暮らすまち 世田谷

## 「世田谷区みうら太陽光発電所」の発電が開始

世田谷区では、これまで主に家庭用の太陽光発電設備約4,500件が設置され、身近なエネルギーとしての利用が広がっています。「みうら太陽光発電所」により、区民の自然エネルギー利用への関心をさらに高め、地球温暖化の防止に取り組んでいきます。



みうら太陽光発電所

年間発電電力量は  
一般家庭の  
約 **130** 世帯分

1年間で約438,800 kWhの電力を発電。これは一般家庭が1年間に使用する電力量の約130世帯分に相当

二酸化炭素の排出削減量は  
年間約230,400 kg-CO<sub>2</sub>

植物が吸収する  
二酸化炭素の量に換算すると

杉の木  
約 **16,400** 本分

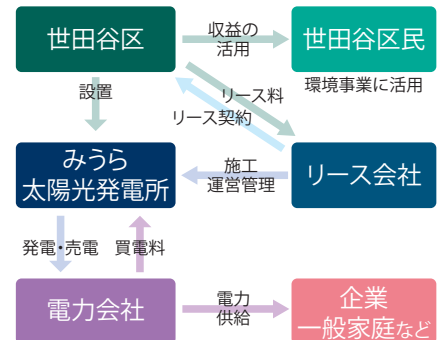
森林面積  
約 **6.4** ha分  
(駒沢オリンピック公園の約1.5個分)

パネル面積は

約 **1,900** 畳分

約8,700㎡の広大な敷地に太陽光パネル1,680枚が並ぶ光景は圧巻です。

### 事業の仕組み



発電所の建設～メンテナンスまでをリース会社に委託することで、初期投資がかからず、故障や事故などの事業リスクについても最小限に抑えられます。発電した電気は電力会社を通じて地域の方が利用し、売電した収入は世田谷区の環境事業に活用します。